

D-proBooks アワード 総評

D-proBooksの良さは、カラーの映像や動画、音声などを掲載できるという良さがあります。誰でも気軽にマルチメディアブックを作れるというわけです。

今回の2作品もマルチメディアの良さを生かした本になっており、高く評価されるものでした。杉山先生の『写真に魔法をかけよう』は、アングルを変えたりフィルターを入れたりして変化に富んだ写真にするという授業実践であり、多くの学校で取り組むことができるでしょう。古谷先生の『ハンドアーチェリー交流大会』は、遠隔システムを用いて生徒同士がハンドアーチェリーを介して交流するという活気的な授業であり、様々な形で応用や発展ができる実践と言えます。



今回でD-proBooksは終了しますが、自身の授業を映像で記録しておくことは、他者に広く共有化できるだけでなく、授業者としての実践を振り返る材料ともなります。いつかまた形を変えた形で、授業実践の交流ができることを願っております。

編集長 前田康裕 (D-project副会長・熊本大学)

	オリンピックを プレゼンしよう! 石井雄大 2020年		通販番組を作ろう! 平山晃史 2020年		正しく勝とう! タグマッチプレゼン テーション大会 猪野友香 2020年		世界の魅力発信大会 樋口美里 2020年
	将来住みたい都道府 県について発表しよう 野原紆奈子 2020年		高校情報 プレゼンテーション 石川勇輝 2020年		プレゼンの力で 校則を変えよう 中島瑞稀 2020年		プレゼンテーショ ンを学ぼう 足名匠吾 2020年
	作曲家になろう! 荒木弥生子 2020年		絵本の世界に、 iPadで飛び込もう 岡本光司 2020年		パラスポーツの 輪を広げよう 齋藤ゆか 2020年		日本人と欧米人の プレゼン 荒蒔桜俊 2020年
	My Work 高校生の ためのプレゼンテー ションの指導 伊藤聖樹 2020年		Everyone Can Create in Special Needs Education 稲田健実 2020年		伝えたくないと 中村純一 2020年		iPadでプレゼン力 の向上を! 薄井直之 2020年
	Everyone Can Create de 卒業研究 山中昭岳 2020年		特別支援学校に おけるQRコードを 活用した取り組み 藤田武士 2020年		ハンドアーチェリー 交流大会 古谷太一 2021年		写真に魔法を かけよう 杉山雄太 2021年



D-proBooks アワード 2021 ファイナル!

D-projectが2017年から取り組んできた

D-proBooksは2020年度をもって終了します。

これまで応募してくださった皆さん、編集作業に関わっていただいた皆さん
本当にありがとうございました。おかげさまで50作品が公開されています。

そして、今回のD-proBooksアワード2021ファイナルにおいて

2作品が追加され、合計52作品になります。

52作品の内容は多岐にわたります。ICT活用、学級経営、特別支援教育、
教材集、Tips集など。4年間の歩みとしては十分すぎる成果だと自負しています。

これらの作品は今後も「Apple Books」において残され、
「D-project」と検索することで見る・読むことができます。

D-proBooksは、D-projectのレガシーとして、受け継がれていきます。

この紙面では、今年度コロナウィルス感染症の影響によって、
落ち着いて教育実践に取り組めない状況にもかかわらず、
応募していただいた2作品を紹介します。

一般社団法人 デジタル表現研究会 / D-project

ハンドアーチェリー交流大会 ～遠隔テレビ会議システムを使った授業実践～

古谷太一（北海道網走養護学校）

著者より作品紹介

本実践は、今年度新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった北海道肢体不自由養護学校体育大会の代替として、遠隔テレビ会議システムを活用し、他校とスポーツを通じて交流することができないかと考えて行ったハンドアーチェリー交流大会の取り組みです。

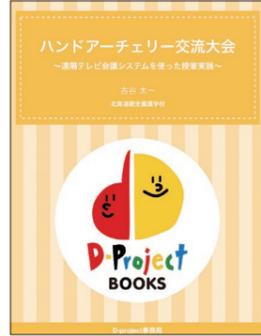
今回はハンドアーチェリーを題材に、基本的な身体の動きの育成や向上を図りながら、「交流大会」ということを特に意識して、遠隔地に居る生徒同士がどのような場面設定、取り組みを行うとより交流を経験することができるのかを考えて授業を行いました。



指導者間の意見交換

また、両校とも生徒の状態によって、ハンドアーチェリーのピンを飛ばすための補助具を制作し、それを活用して競技を行うことにも取り組みました。

生徒たちの対人関係の経験を広げ、将来の社会生活を豊かにしていくために、間接的でも他者と関わりをもちながら学習することも今後の教育で大切になると感じる実践でした。



写真に魔法をかけよう

杉山雄太（柏市立十余二小学校）

著者より作品紹介

3年生の図画工作科として行った学習です。iPadの基本操作に慣れさせることを目的として

- ①カメラ機能の使い方を覚える
 - ②高さや角度など、構図を工夫して写真を撮る
 - ③レンズと被写体の間にカラーフィルムやサラップなどを挟み、幻想的な写真を撮る
 - ④撮影した写真を友達と見合い、互いにフィードバックする
- といった学習内容になっています。

今回はこの学習を絵画の作品作りと結びました。撮影の際、手にリコーダーを持つことを条件としました。

絵画の学習で、例えば「リコーダーを持つ私」をテーマとした際、児童は正面を向いてリコーダーを吹いている絵を描きがちでどの児童も同じ構図になりがちだと感じていました。この学習を経た後このテーマで絵画に取り組ませた所、自分なりに構図を工夫した様々なバリエーションの作品が出来上がりました。

小学校3年生での実践ですが、教科や単元を工夫することでどの学年でも行うことができ、高学年や中学生であればより創造性が見られる学習です。



D-proBooks HISTORY 2017～2021

🔍 Apple BooksからD-project Booksを検索

<p>聞かせて覚える 小学校英語 栄利滋人 2017年</p>	<p>授業におけるICTの効果的活用 尾花和哉 2017年</p>	<p>時代のニーズに応じた校内SD研修の創造 山田一人 2017年</p>	<p>子どもたちの「できた」が見える化する 河崎陸 2017年</p>	<p>授業のアイデアが広がるiPadアプリのTips集 山口修一 2019年</p>	<p>NHK for school 15min Lesson 郡司竜平 2019年</p>	<p>MetaMojiノートで単学校パンフづくり 村上正祐 2019年</p>	<p>MetaMoji Noteで作る事前学習 大久保弘子 2019年</p>
<p>教室掲示でクラスが変わる! 神田みゆき 2017年</p>	<p>感謝の伝え方を教える 渡辺猛 2017年</p>	<p>学級歌を作ろう 菊地寛 2017年</p>	<p>どの子ども安心して成長できる学級・学校を考える 澤栄美 2017年</p>	<p>ロイノートで深まる思考 西尾環 2019年</p>	<p>みんな楽しくプログラミング 有谷剛仁 2019年</p>	<p>プレゼんしようぜ! 薄井直之 2019年</p>	<p>フェイクニュースと誇大広告を考える授業のガイド 糸田凌 他4名 2019年</p>
<p>ぼくの心をわかって～絵を描くのは嫌いだ～ 西尾環 2017年7/2</p>	<p>社会とつながるリアルな学び 福田晃 2018年</p>	<p>みんな聞いて! 2の1の歌 学級づくりから広がる世界 小田浩範 2018年</p>	<p>小学校中学年教材 そろばん、漢字パズル、地図パズル 教材開発委員会 2018年</p>	<p>フィッシング詐欺の危険性を伝える教材 井ノ上美紀 他4名 2019年</p>	<p>伝えよう自慢のあさがお 若荷谷衣里奈 2020年</p>	<p>高校情報 プレゼンテーション実践能力を身につける 戸崎嘉 2020年</p>	<p>「プレゼん」のプレゼん 窪木達也 2020年</p>
<p>映像メディアの指導を取り入れたパンフレット制作の授業 小林祐紀 2018年</p>	<p>協同学習de楽しい授業 澤栄美 2019年</p>	<p>知的障害特別支援学校におけるNHK for schoolを活用した「できた」を実感できる生活単元学習 藤田武士 2019年</p>	<p>対話的な学びの実現に向けて 古谷太一 2019年</p>	<p>インパクトのある自己紹介プレゼン 吉田真緒 2020年</p>	<p>売上げ1位をめざそう! 黒沢紗理奈 2020年</p>	<p>伝え伝わるプレゼンテーション 高林亮祐 2020年</p>	<p>プレゼンテーション授業 海外ツアー大作戦! 小野寺遙 2020年</p>